

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		2011年 月 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区大宮通木津屋橋下る上中之町2番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本通運株式会社 京都支店 支店長 堀切 智

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	【別紙①】参照
適 用 範 囲	
導 入 年 月 日	年 月 日
認 証 番 号	
基 本 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全のための仕組み、体制の整備 ・エネルギー効率の向上 ・廃棄物の発生抑制、適正処理及びリサイクルの推進 ・事務所における環境保全の推進
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2の削減・・・年々2～3%の削減目標 ・各事業所からの廃棄物を削減し22年度から5%の削減目標 ・事務所内においては、夜間電力の削減を図る
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2の削減・・・年々2～3%の削減目標 ・各事業所からの廃棄物を削減し22年度から5%の削減目標 ・事務所内においては、夜間電力の削減を図る
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所の電気量の把握 ・軽油についても使用量と軽油価格の把握 ・課員がゴミを減らすための意識向上 ・それぞれの項目における管理・現状把握
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	それぞれの項目において、適正管理に努めている。 管理部門からの現在の使用状況を伝達することで、各課所での現状を把握してもらう。
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎月、1回の管理を実施している。 他、コンプライアンスの遵守
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	各年度の目標数値については、現在の目標数値であり、見直し時期で、更なる高い設定が可能であれば、上方修正も実施する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。